

飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について (H31年1月)

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの 2018/19 (平成 29.9～31.8) 年度の需給予測

【生産量】 3億7,152万トﾝ (前月同予測)

【単収】 11.23 トン/ha (前月同予測)

(178.9 ブッシェル/エーカー)

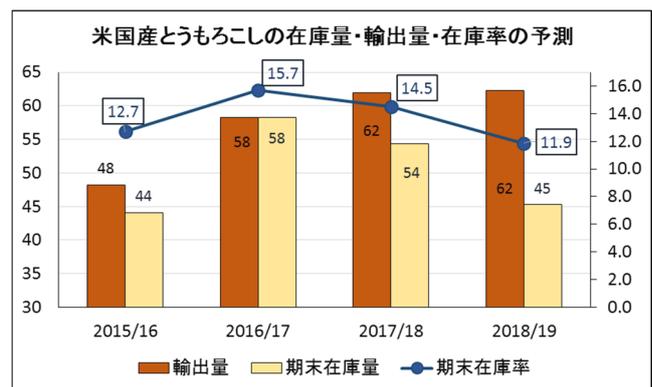
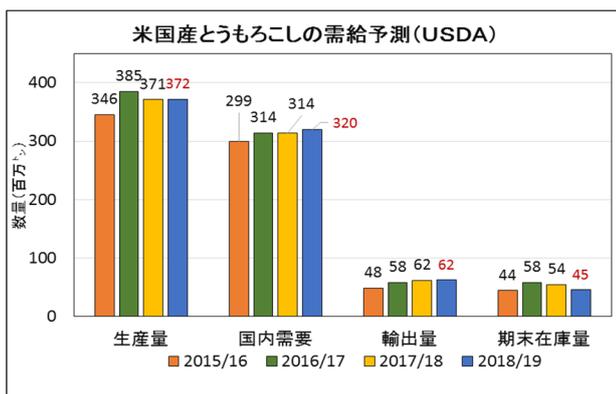
【国内需要量】 3億1,955万トﾝ (前月予測比：▲127万トﾝ)

【輸出量】 6,223万トﾝ (前月同予測)

【期末在庫】 4,524万トﾝ (前月予測比：+114万トﾝ)

【期末在庫率】 11.9% (前月予測比：+0.34ポイント)

(世界の期末在庫率 27.3%)



※USDA の一時業務停止にともない、31年1月の見通しは公表されていない。

需給予測データは12月11日USDA公表値のもの。

(2) 飼料穀物 (シカゴ) 相場及び為替相場の状況等

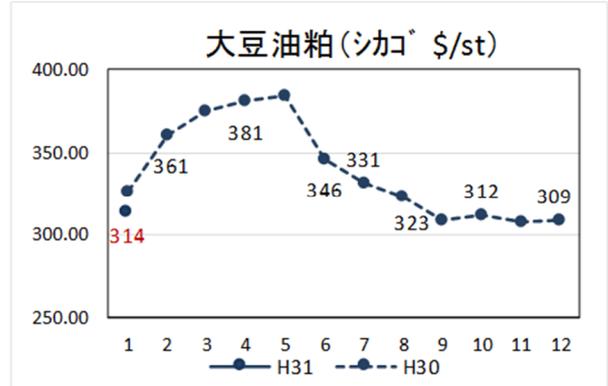
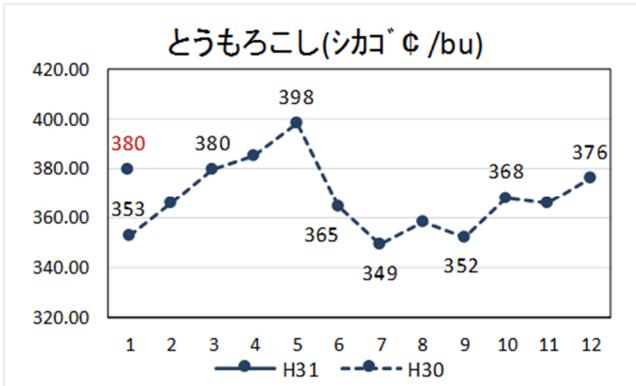
区分/月平均	9月	10月	11月	12月	H31.1月	
とうもろこし (¢/ブッシェル)	352.3	368.2	365.8	376.2	379.5	↑
大豆油粕 (ドル/トﾝ)	308.6	312.2	307.3	308.6	313.7	↑
為替相場 (円/ドル)	111.1	112.9	113.0	113.1	110.0	↓
フレート (ドル/トﾝ)	49.3	52.6	50.2	50.1	47.4	↓

資料：飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(1/15)までの平均値

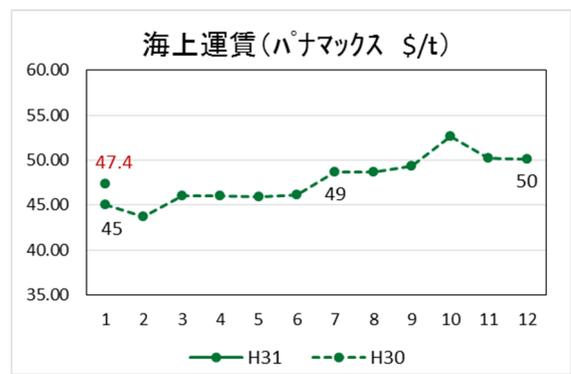
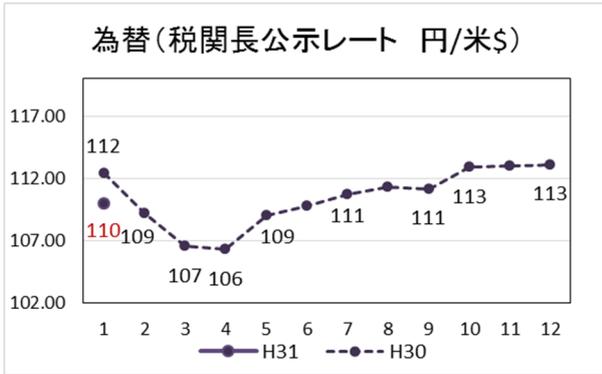
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸～日本 (平均) 為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/ト)

